

『監査視点』による情報セキュリティ・人工知能・個人情報保護/ マイナンバー早わかり講座

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2017年 10月 16日(月) 10:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

【開催にあたって】

ITの進化は劇的に加速し、プライバシー意識の社会動向も激変する中で、監査人はITやプライバシーの問題にどう向き合い対応すべきでしょうか? ITやプライバシーの問題が、株価や役員の進退、各部門での働き方を激変させる昨今、単にITに詳しくないからITやプライバシーの関係の監査事項は後回しにするという監査対応は、果たしてこれから求められる監査人としてふさわしい対応でしょうか? 本講座では、ITに詳しくない方も詳しい方も、監査視点でITやプライバシーの問題を見つめ直し、これから求められる監査対応や今さら聞けないITやプライバシーの常識について、老若男女にやさしくわかりやすい指導で定評のある講師が1日間の速習講座で重点解説いたします。

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村智憲 氏

早大卒。米国MBA修了。博士後期課程(Ph.D)中退。国連勤務にて国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案専門官リーダー等を担当。民間企業役員として監査統括・人事総務統括や、岡山大学大学院非常勤講師、経営行動科学学会理事、上場IT企業JFEシステムズ(株)アドバイザー、JA長野中央会顧問などを歴任。経産省・総務省でのIoT推進コンソーシアム有識者会員、東日本震災前に世界初でクラウドを事業継続などに活かす危機管理型クラウドを開発・提唱。著書33冊。TV・ラジオ・連載など多数。



【申込書送付先】 FAX▶03-5215-0951 ※当会HPからもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	37,800円(本体価格 35,000円)	一般	41,040円(本体価格 38,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

171730-0202 情報セキュリティ・人工知能・個人情報保護/マイナンバー早わかり講座			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailでもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

【プログラム】

1. 監査人のための情報セキュリティ重点解説

- (1) コンピュータ・ウイルスやサイバー攻撃の現状
- (2) 経営視点・監査視点でみる情報セキュリティ対策
- (3) IT統制として求められる対応ポイント
- (4) 全国各社で指摘されるIT統制の脆弱性ポイント
- (5) 情報セキュリティ・リスクの評価と重点対応
- (6) 「クラウドファースト」な時代の「クラウド」と監査ポイント
- (7) 攻撃者視点に立って防御策を考えることの重要性
- (8) 情報セキュリティ監査と連携する監査対応
- (9) 具体的に監査指導・指摘などでどう向き合うポイント など

2. 今さら聞けない人工知能(AI)・IoT・ビッグデータの概要と展望

- (1) 人工知能(AI)とは、要するに何なのか?
- (2) 迫りくる「シンギュラリティ」と「人工知能倫理」の観点
- (3) 米国の訴訟時に「eディスカバリ」で弁護士の代わりになる人工知能
- (4) IoTから得られるビッグデータが人工知能を強化する関係・仕組み
- (5) 人工知能の事例と監査視点でみたAI活用策とリスク管理策
- (6) 進化した意思決定支援ツールとしての人工知能
- (7) 情報セキュリティ対策における人工知能の活躍シーン
- (8) 人工知能は良きパートナーか脅威か?: 「AI脅威論」と「AI楽観論」
- (9) 大胆予測: 「人工知能が奪う仕事」の監査におけるターゲットは
会計監査・J-SOX有効性評価業務・保証型監査だ!
(10) 付加価値のある仕事をするために監査人はどうすべきか? など

3. 改正個人情報保護法/マイナンバーで求められる監査ポイント

- (1) 改正個人情報保護法で陥りがちなポイント解説
- (2) 改正個人情報保護法に付き合う際のコツと知恵(IT編/業務編)
- (3) マイナンバーでうっかりはまるワナと対策
- (4) マイナンバーと向き合う際のコツと知恵(IT編/業務編)
- (5) 両者に共通な4つの安全管理措置: 監査指導・指摘において、調書や現場にかみ砕いて対応できている?
・組織的安全管理措置を一言で言えば・・・?
・人的安全管理措置とは要するに何か?
・物理的安全管理措置は何かポイントか?
・技術的安全管理措置をどう監査でとらえるか?
- (6) 改正個人情報保護法とマイナンバーの対応の主な相違点
- (7) プライバシーにかかわる国際的な諸問題
- (8) 情報セキュリティと個人情報保護・マイナンバーの関わり
- (9) IT利用監査技法(CAAT)による監査効率化の対策
- (10) こんな時どうする?よくある疑問と対応策 など

4. 質疑応答

※最新動向などに応じて、上記項目等を改訂・修正させて頂く可能性がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。